

実践記録(小1・生活科)

1 ねらい

児童がデジタルカメラを活用して、飼っている虫の特徴を伝える資料を作成することができるようにする。

2 活用したICTと場面

デジタルカメラ・まとめの段階

3 実践の様子

これまで飼ってきた虫の特徴を伝えるための資料作りを行った。

はじめに、教師が書画カメラを使って、資料を見せずに発表した場合と資料を見せて発表した場合について示し、比べさせた。児童は、写真や絵を見せながら発表すると分かりやすくなることに気付くことができた。

また、同様に、話の内容に合わない資料を見せて発表した場合についても教師が示した。児童は、発表内容に合った資料を選ぶことの大切さに気付くことができた。

この後、班に分かれて活動した。まず、どのような資料を作れば自分が気付いた虫の特徴を伝えられるかを自分一人で考え、ワークシートに記入した。次に、用意する資料と発表原稿の内容が合っているかを班の児童と相談して確認した。

必要な資料が決まった班から資料の作成を行った。資料を作る際の注意点として、伝えたい部分を大きく示すことを教師が伝えた。

児童は、デジタルカメラで虫の細部を写真に収めていた。一人が虫をつかみ、一人が撮影し、協力して資料を作成していた。デジタルカメラ



【虫の細部を撮影している様子】

のマクロ機能を使って虫の一部を拡大して撮影させると、目で見ただけでは分かりにくい部分も拡大して見るできるので、「足にも毛が生えているよ」など新たな発見をすることができた。

4 成果と課題

- 児童が、デジタルカメラを使って虫を撮影することで、虫の一部を拡大して見ることができ、新たな気づきが生まれた。
- うまく撮影することができない児童がいた。児童がICTを活用する際の、より簡単で効果的な活用方法を追究するとともに、どのようなポイントで撮影すればよいのか事前に確認しておく必要がある。